

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和7年1月23日（木） NO23 文責 きした 木下 ふみあき 文秋

AかBか？それともCか？

人は誰でも悩むことがあります、それはごく自然なことです。AかBかを悩みます。例えばAを選ぶかBを選ぶか。Aに行くかBに行くか。その時々を選択をしますが、まれに悩んだ挙句に「何もアクションを起こさない」というCを選択することがあります。私は最近森岡毅さんという有名な実業家でマーケティングのプロである人の動画を見るのですが、この方の話はとても参考になります。彼は、何も行動を起こさないCという選択肢は良くないと断言します。「やるかやらないか」で迷っていて「やって後悔する」ことも「やらないで後悔する」こともあります、何もせずして後悔することは一ミリの前進がないと言われています。例えば、おみくじにしても、末吉であろうが小吉であろうが関係ない。それを大吉に変えることができるのは、その後の自分自身だと言い、つまり世の中には無駄なことは何一つなく、どんなアクションをしても自分自身にマイナスにはならないということをメッセージしています。「自信がついてからやるのではなく、やってみて自信がつく」のだから、うまくいくか悩んでいないで行動に移すことが大事だということです。「挑戦して失敗はしたくないし、恥もかきたくない」と思いますが、実際失敗した人を見て、馬鹿だなあと笑い飛ばすことはないように感じます。むしろよく頑張ったなあと感心するのではないですかね。これをやるべきかどうかで悩んだときに、「将来後悔するかしないか」が判断のバロメータです。後悔すると思えばやるべきで、特にときめかなければその必要は無し。仮に失敗してもその経験は絶対に役に立つということだと思います。人間の脳は賢いそうです。例えば「頑張ったことと頑張らなかったこと」「結果が出たことと結果が出なかったこと」を軸にして

考えた時、「頑張って結果が出た」「頑張ったけど結果が出ない」「頑張らないから結果が出ない」はすべて成功体験ある

結果が出た	
×	○
頑張らない○	○ 頑張った
結果が出ない	

いはそこに「学び」があるそうですが「頑張らないのに結果が出た」ことを体験してしまうと、人間の脳は著しく勘違いをするそうです。人生の中で「ここは頑張らないといけない！勝負の時だ！」と思ったときに「頑張らないのに結果が出た」体験はひどく邪魔をするということです。